

2016年度 日本文化人類学会 第2回 評議員会議事録(案)

日時：2016年5月28日(土) 11:00~12:30

会場：南山大学名古屋キャンパスS棟S-45教室(J会場)

<出席者>松田 素二、青木 恵理子、綾部 真雄、飯嶋 秀治、伊藤 泰信、植野 弘子、宇田川 妙子、梅屋 潔、大杉 高司、太田 好信、岡田 浩樹、小川 さやか、小田 亮、川田 牧人、栗本 英世、湖中 真哉、佐々木 重洋、嶋田 義仁、清水 展、白川 千尋、杉藤 重信、関 雄二、鷹木 恵子、高倉 浩樹、竹沢 尚一郎、棚橋 訓、中谷 文美、名和 克郎、沼崎 一郎、速水 洋子、真島 一郎、松岡 悦子、森山 工、箭内 匡、吉野 晃、渡邊 欣雄

<委任状提出>内堀 基光、小田 博志、門田 岳久、桑山 敬己、葛野 浩昭、慶田 勝彦、坂井 信三、シンジルト、田中 雅一、床呂 郁哉、丸山 淳子、三尾 裕子

議長：清水 展

1. 2015年度事業報告について

- ・松村第26期庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。

2. 2015年度会計報告について

- ・赤堀第26期会計担当理事代理の松村第26期庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。

3. 2016年度事業計画(案)について

- ・川田庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
- ・松田会長候補より、『文化人類学』の表紙デザインが2016年度刊行の81巻1号から変更されること、科学研究費補助金(研究成果公開促進費「国際情報発信強化」に5年間[2016年度~2020年度])が継続課題として採択されたことが説明された。また、今年5月にクロアチアで開催されたWCAAの会議において、本学会のDelegateとして出席した窪田幸子会員(神戸大)が組織委員会の選挙に立候補し、当選したことが報告された。

4. 2016年度予算(案)について

- ・綾部会計担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。

5. 第27期理事会・各種委員会の構成について

- ・川田庶務担当理事より第27期理事会・各種委員会の構成についての報告があり、審議の結果、承認された。

6. 第27期監事候補者の推薦について

- ・スチュアート ヘンリ氏、高桑史子氏を第27期監事として総会に推薦することが承認された。

7. 名誉会員候補者の推薦について

- ・名誉会員に関する内規に基づき、須藤健一氏を名誉会員候補者として総会に推薦することが承

認された。

8. 会費体系の改定について

- ・松田会長候補より、学会誌 80 巻 4 号に掲載の「会費体系の改定について」に示された会費改定案に基づき、2017 年度からの会費体系の改定について提案がなされた。主な改定部分は下記の通り。

- ①通常会員会費を年額 11,000 円とする。
- ②従来の学生割引会費に替わり、年収総額が 300 万円以下であることを条件に会費割引を適用する。減額対象会員会費は年額 6,000 円とする。年収の確認は自己申告を基本とする。

改定案に対し、年収の確認方法の妥当性や、会費区分についても永年(終身)会員制度や高所得者と学生とでさらに差をつける等のより細分化した会費区分の導入、収入が不安定で先の見通しがつかない状況におかれている会員に対する配慮の必要性など、様々な意見が出され、活発な議論がなされた。松田会長候補は第 26 期理事会で作成、検討された試算資料を示し、具体的なシミュレーションを経て今回の改定案に至ったことを説明した上で、この改定案の実施により、学会会計状況が改善した後により適切かつ詳細な会費体系の検討を行っていくことを確認し、審議の結果、原案を総会に諮ることが承認された。

9. 法人化について

- ・三尾法人化検討委員会委員長代理の棚橋総務担当理事より、第 26 期法人化委員長名で学会法人化に関する書面を学会ホームページに掲載したことが報告された。併せて第 26 期が作成した説明資料の紹介とともに、法人化に関するこれまでの経緯と、昨年度の総会で法人化への検討を進めることが承認されたことを受け第 26 期理事会で検討が進められてきたことが説明された。

法人化への検討を進める理由として、本学会のような規模の団体が任意団体であることは通例ではあまりなく、税制上の問題、科研の交付を受ける団体の資格としての問題等が予見されることが説明された。また、第 26 期理事会が法人化への検討を進めるにあたり、一般社団法人化が適当であるとの判断からそれに基づく定款案を作成したことが報告された。

第 27 期理事会では、第 26 期理事会のこれまでの取り組みと過程を説明するとともに第 26 期理事会の検討の成果として定款案を示した上で、会員からパブリックコメントを募るため専用アドレスを設けて 1 年をかけて検討することが提案され、審議の結果、総会で諮ることが承認された。

10. 平成 28 年熊本地震の被災会員に対する特別措置について

- ・川田庶務担当理事より、平成 28 年度熊本地震の被災会員に対する 2016 年度会費徴収特例措置案が提案され、審議の結果、原案を総会に諮ることが承認された。併せて、本措置について速やかに学会ホームページと JASCA-INFO で周知することが承認された。

11. その他

- ・川田庶務担当理事より、今回の総会で黙祷を捧げる物故会員についての説明がなされた後、他の物故会員についての情報提供が求められ、3 名に黙祷を捧げることが確認された。
- ・速水洋子第 27 期 JRCA 編集主任より、科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「国際情報発信強化」に採択されたことにより、JRCA は 2016 年度より 2 号体制となり、2016 年度においては 12 月と 3 月に刊行されることが報告され、投稿呼びかけの依頼がなされた。

以上

